

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

| | | |
|---|---|--|
| 建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日 | 第四銀行文書保管センター 中央区 紫竹山2丁目447-5 他 準住居地域 事務所, 工場, 2015年12月 竣工 2,549.02 m ² 1,686.20 m ² 4,806.50 m ² 地上3F RC造 実施設計段階評価 2015年2月10日 | |
|---|---|--|

2. CASBEE新潟の評価結果

| | | |
|---|----|--|
| | B+ | $BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{49.0}{42.0} = 1.1$ |
| S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ | | |

3. 新潟市の重点項目の評価

| 重点項目 | 平均スコア | 評価 | 項目 | スコア |
|---------------------------------------|-------|----|-----------------|-----|
| 1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために | 3.0 | | バリアフリー | 3.0 |
| | | | 維持管理 | 3.0 |
| | | | 更新性 | 3.0 |
| 2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために | 3.0 | | 耐震・免震 | 3.0 |
| | | | 信頼性 | 3.0 |
| 3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために | 3.0 | | 雨水排水負荷低減 | 3.0 |
| | | | | |
| 4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために | 3.7 | | 建物の熱負荷抑制 | 4.3 |
| | | | 自然エネルギー利用 | 3.0 |
| 5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために | 2.7 | | 節水 | 3.0 |
| | | | リサイクル材の使用 | 1.0 |
| | | | 再利用可能性向上 | 4.0 |
| 6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために | 1.5 | | 生物環境の保全・創出 | 1.0 |
| | | | 敷地内温熱環境の向上 | 2.0 |
| 7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために | 3.5 | | まちなみ・景観への配慮 | 4.0 |
| | | | 地域性への配慮, 快適性の向上 | 3.0 |

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 第四銀行文書保管センター | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 新潟県新潟市中央区 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 準住居地域 | 平均居住人員 | 100人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途 | 事務所、工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2015年12月 竣工 | 評価の実施日 | 2015年2月10日 |
| 敷地面積 | 2,549 m ² | 作成者 | 河野亮太 |
| 建築面積 | 1,686 m ² | 確認日 | 2015年2月10日 |
| 延床面積 | 4,807 m ² | 確認者 | 吉田健二 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 | |
|---|--|--|
| 室内環境については全面禁煙にすることや耐用年数の長い配管材を使用することで考慮している。 室外環境については設備の高効率化をすることで考慮している。 | 0 | |
| Q1 室内環境 室内環境については全面禁煙にすることで考慮している。 | Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を使用している。 | Q3 室外環境(敷地内) 植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。 |
| LR1 エネルギー 設備の高効率化を行っている。 | LR2 資源・マテリアル OAフロアを採用している。 | LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場と駐輪場を設けている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される